

伝説のエルフ騎士ヴェルエーテは人間の女がモンスターに連れ去られる事件を追ってこの辺境の西の地に赴いていた

噂では邪悪なダークエルフがこの誘拐事件に絡んでいるらしい

ヒオオオオ〜

キッ

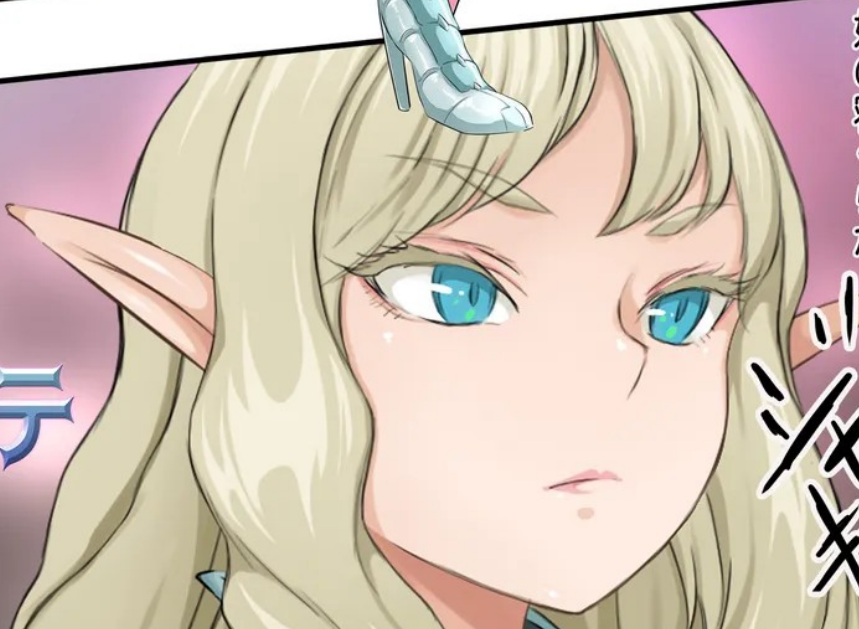
エルフに對抗できるのはやはりエルフのみ

そこでヴェルエーテに邪悪なダークエルフ討伐の依頼がきたのだった

フウ
やはり邪悪なオーラが色濃くなってきた…あの薄気味悪い古城が奴の寝ぐらか

シヤッ

伝説のエルフ騎士 ヴェルエーテ



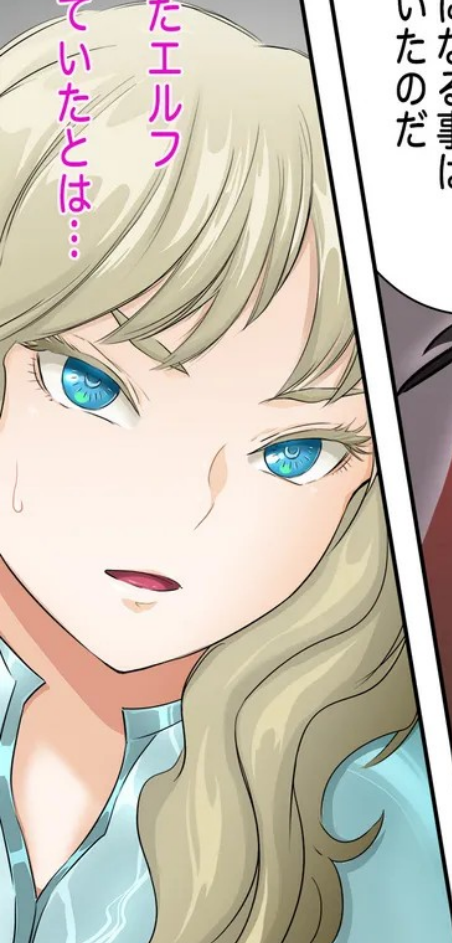


おやおや
エロいエルフの匂いが
するから探しにきてみたら
フフフ
これはとんだ大物の
客人じゃあないか ハッ

久方ぶりじゃあないか
ヴェルエーテ
350年ぶりの再会だね
長い間お前に恋い焦がれて
彷徨い歩いていたが
私の想いがついに
天に届いたらしい ふふふ

お前の事を一日たりと忘れた事は
なかったぞ
今宵 お前と一つになる事は
すでに決められていたのだ

漆黒のアナマンド
かつて私の仲間だったエルフ
生きていたのか：
そしてまだ私を追っていたとは…
こいつは手強いぞ



ゴゴゴゴ

やはりお前は
あの時に殺しておく
べきだった
お前の思想は
狂ってる

昔のよしみだ
せめて
苦しめないように
葬ってやる

ククク
言うじゃないか

私は何も
狂ってなど
おらん

私は自分の愛する
ものを奥の奥まで
味わいたい
ただそれだけ…

ヴェルエーテ
何故わからん

ゴゴゴゴ

ククク 私の夢は全人類の女に
快樂だけが永遠に続く
愛と肉欲の世界を創造する事！
この世から秩序を排除し
獣のように性を貪る世界

嗚呼 ヴェルエーテ！
お前はエルフの中で最も
私を嫉妬させた美しき者
私の愛を受けるべき者

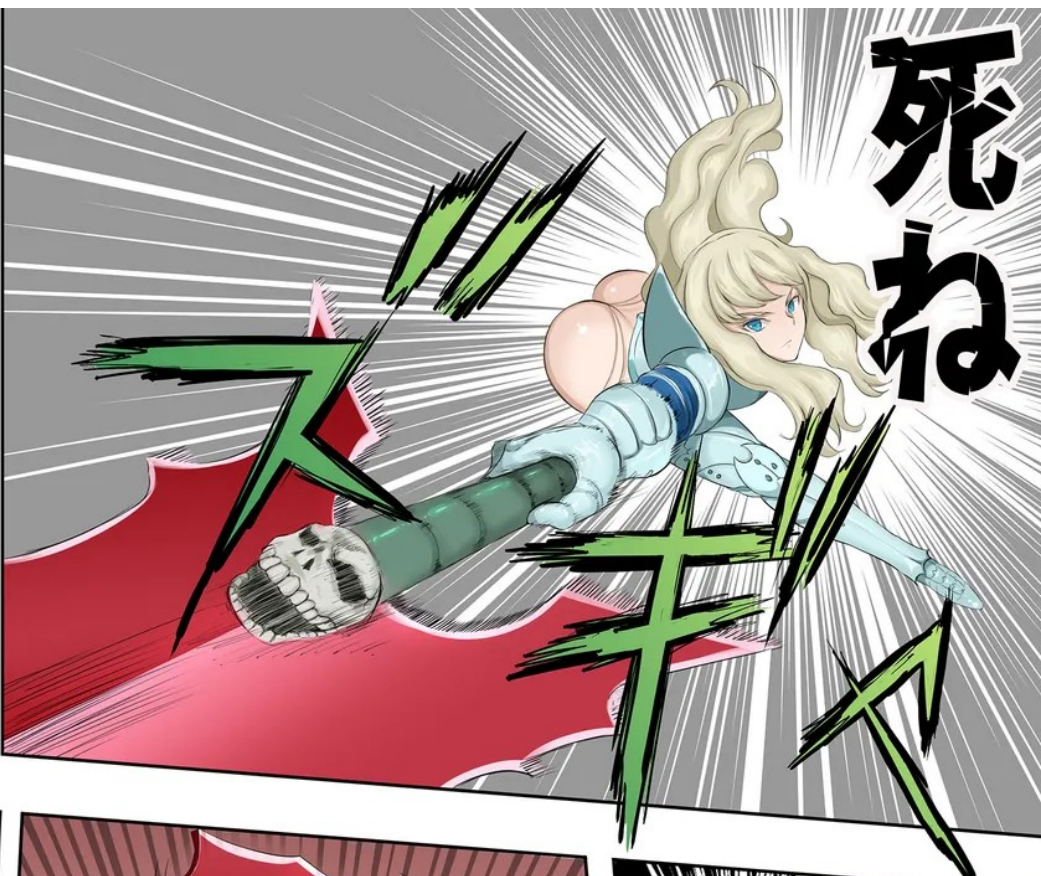
お前の生命力と美貌が私の
夢の実現に必要なのだ！

くう
お前のその
狂った認識

貴様のその下らん
夢のせいで
一体何人の女達が
犠牲になったんだ
許さん



ウツウツ



死ね

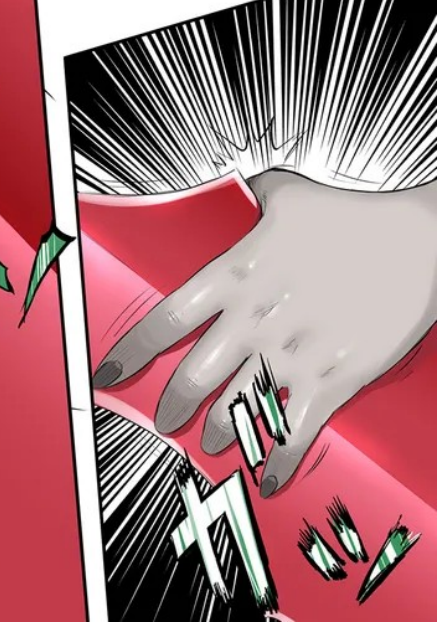


あはあ、
捕まえたあ♡
お前をどれだけ待ち
望んでいたと思う？
350年ずっと
お前だけを思っていたよ

さあ、これから
気が遠くなるような
快樂の日々を
共に歩もうぞ



くっ！
人間を盾に…
クズがっ！

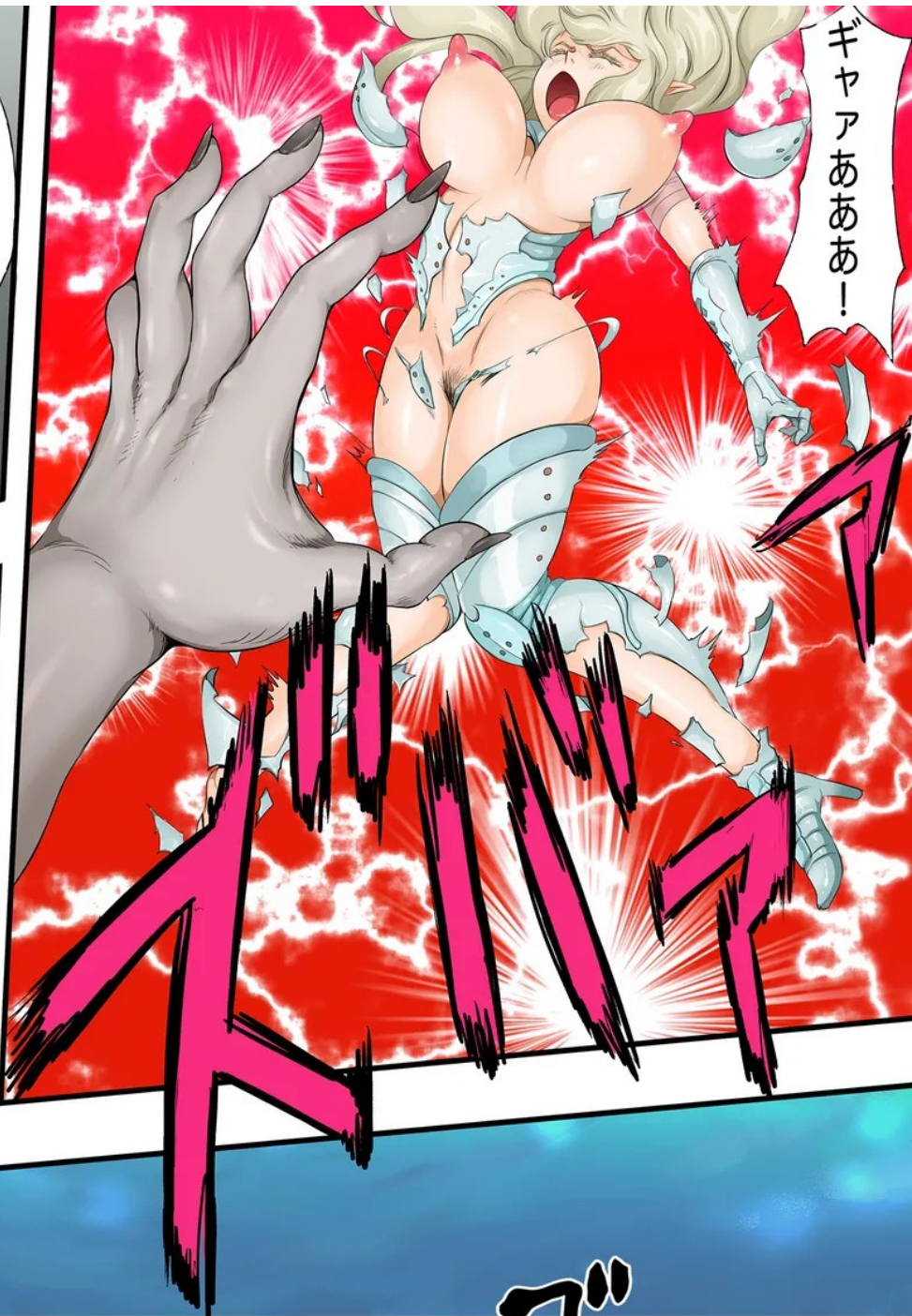




この350年の間
私も肉體改造してね
おかげでお前を
凌駕するほどの
魔力を得たのさ



美しきヴェルエーテ
今のお前では
私には勝てないよ
さあ私の城で美味しく
料理してアゲル



ギヤアあああ！



ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

アナマンダの古城



さすが伝説のエルフ
49日間もひたすら
オーク共にハメ倒されても
まだ目が死んでいないね
大した精神力だ ククク



お前が泣きながら私に許しを
懇願して欲し買ったが
どうやら無理なようね
まあだが今日は
お前のその美しい顔を
快楽で歪ませてやろう

き...貴様などに
負けない



アナマANDAに捕らえられてから49日後

くっ 屈辱
こんな格好でなす術も無く…

コーッ

コーッ

コーッ

コーッ

ムカウへ

もう何回も風呂に入っていないせいで
身体中が物凄く臭い…
私はこんなにも臭くなれたのか…



くっく…

ククク

ククク
これ何だかわかるかい？
こいつは肉体を
陰茎変異させる
おぞましい寄生陰蝨

マリリヤンの幼生だよ

今からこいつを
お前のヴァギナに埋め込む

ギイッ！



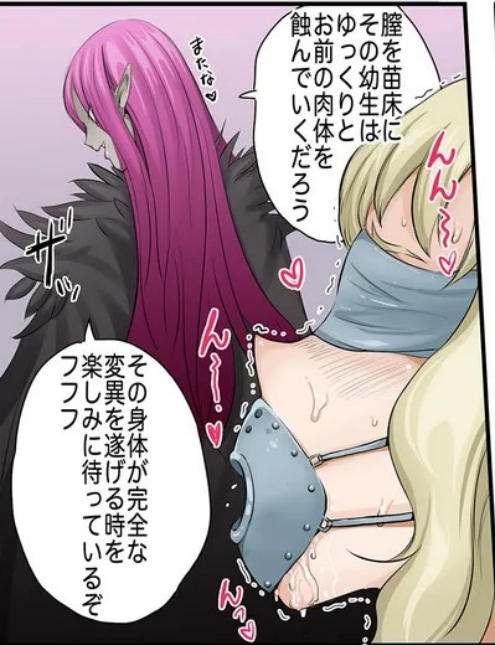
くっ
あれは古の禁断魔術書に乗っていた
「マリリヤン」
とつくに絶滅していると思っていたが
現存していたのか…

ドキ

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

マズイ…
アレを寄生させられたら
もう終わりのだ…
や…やめるー





この日よりヴェルエーテはマラリヨンに寄生させられ暗闇の牢獄に収監されることになる

通常の人間の肉体ではマラリヨンの急速な変異に耐えられず絶命してしまうがエルフ族は、ほぼ不死の肉体を持っていてる為この拷問にも耐えられるのである



しかし逆にその抵抗力が仇となりマラリヨンの細胞組織が浸透し変異するまでに膨大な時間を要するのだ

そして実に19年という長い年月をこの牢獄で過ごす事になるのだった

くう あれからどれほどの月日が経ったんだ？
思考が働かない

この無数の触手達から分泌される液
普通の人間だったら
致死量の強力な
●薬成分が入っている

回 乳房 クリトリス アナル ヴァギナ
全ての性的感覚が研ぎ澄まされていて
もう何千回イカされているのかもわからない

イッている最中にも容赦のない触手の愛撫で
また連続でイカされ続ける
どうやらこの拷問は一日10時間ほどのペースで
行われているらしい
ああ 眠くても無理やりポルチオに
強烈な触手を捻じ込まれて またイカされる

乳房に直接何かを
注入されているらしい
グイグイ入ってくる

気持ちいい
なんだ この乳首を
舐め回されているような感触

膣はコイツらの触手でいっぱいだ
子宮も犯されている
もう触手が身体の一部になってる
みたいにずっと侵入している

マラリオン自体には生殖能力がない
人の生殖機能に乗っ取って
同種との交配
をするの聞いたが

なんとも悲しい生物だ

ああ これは夢の中なのか
現実なのか…

意識が曖昧でわからない

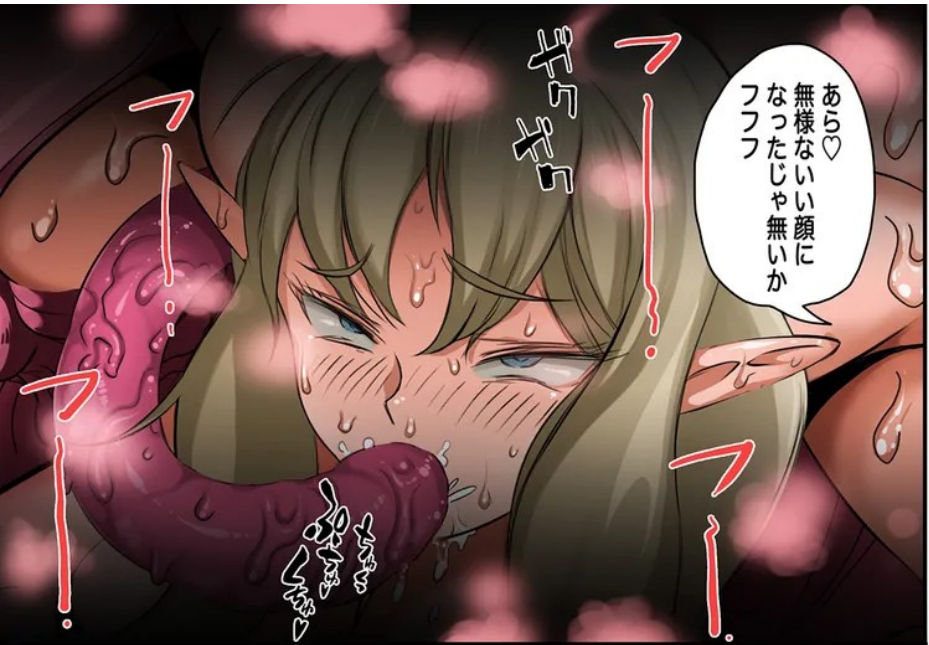
ヴェルエーテは
霞む意識の中で
何とか自我を保つ為に
このような事を
ずっと考えていた

しかし 無情な時の流れの中
やがて思考も
できなくなってしまうた
そして囚われてから
19年とゆう歳月が流れた



お久しぶり
愛しの
ヴェルエーテ

19年ぶりね



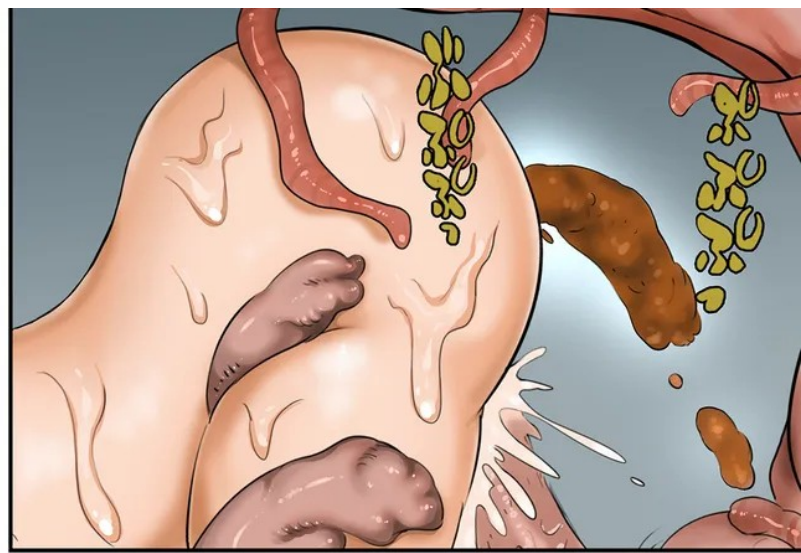
あら♡
無様ないい顔に
なったじゃ無いか
フフフ

やっと愛しいヴェルエーテの
最高の絶望したお顔を
見る事ができたわ 素敵よ
今夜はついに待ちに待った
マラリオン化の儀式よ
興奮して濡れてきちやうわ



さあ 私の為だけに
最高の変異を見せて頂戴
19年間 この日を待ち望んで
私もずっと股を濡らして
いたんだから

マラリオン幼生体 最終形態



マラリラン最終形態

捕らえた生物の腹を苗床にして成長
強力な神経液で相手の身体を支配する
ヴェルエーテが衰弱して死亡しないように
自分の養分を喉から供給する
ヴェルエーテの排泄物は尻尾の触手が食べ
体内で無菌化する
まさに宿主を生かし続ける永久機関である

この段階までくると
マラリランとヴェルエーテの肉体は
80%以上が結合しており
もはや切り離すのは不可能となっている
(※普通の人間女性の場合この段階に辿り着く前に
身体が耐えられず死亡してしまいうケースが殆どである)
最終変異の準備が整うと胸部の割れ目が広がり
ヴェルエーテを包み込み
完全な一個体へとなる為に変態モードに切り替わるのだ



マラリヨン完全変態

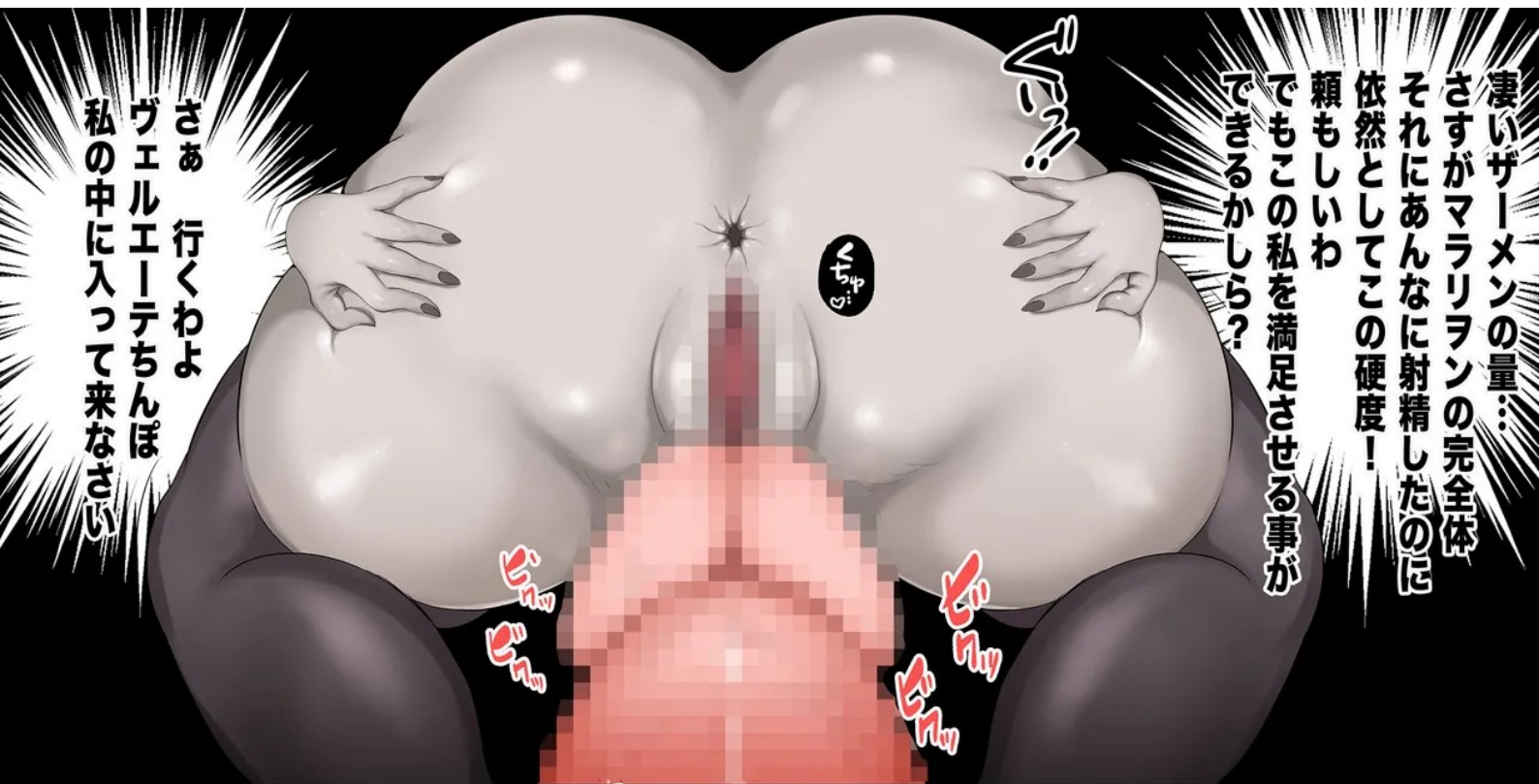
人体に寄生し巨大な陰茎型の姿に変異させ同種との交尾で繁殖する陰獣
だがここ数百年の間メスのマラリヨンの生息が確認できておらず
オスだけしかいない絶滅に瀕した種族である可能性が高い



な：何これ？
何がどうなった？
何も見えない
ハアハア
だが何だ？
この高揚感
先端に向かっ
みなきるよう
この血潮



身体全体がまるで
鋼鉄になったよう
硬く脈打ってる
ああ
鼓動が身体の中
ドクドク響いてる
これは男の射精
時の感覚なのか？
物凄い血流が
乳に(玉)？に
集まってきてる



凄いザーメンの量…
さすがマラリヨンの完全体
それにあんなに射精したのに
依然としてこの硬度！
頼もしいわ
でもこの私を満足させる事が
できるかしら？

さあ 行くわよ
ヴェルエーテちゃんほ
私の中に入って来なさい

ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ



い…行くわよ！

はあ〜っ
はあ〜っ
はあ〜っ
あゝ
あゝ
あゝ

ビュッ
ビュッ

おゴツツツッ！
イギイツツッ

おっおっオゴ
ギモチいっっ
裂けちゃう♡
ああ



ああああああああ
何だこの快樂ううう

挿れるのってスツゴイノオおおお
ギもギもギもてい
きもテイ〜〜いいいいいい

ああああああ

いいのおおのおおのおお

もつど突いてえエエ〜〜

私のマ○コ引き裂いてエええええ

らメラメラめえ

死んじやうう

ぎもち良すぎでぢんじやうんっ!!

亀頭ががっつ

ぎとうガアあっ

擦れてっイグああああああああ

ぎもちいのおおっつ

ああああああああああああああ

あゝ

んじう

あゝ

んじう

んじう

んじう

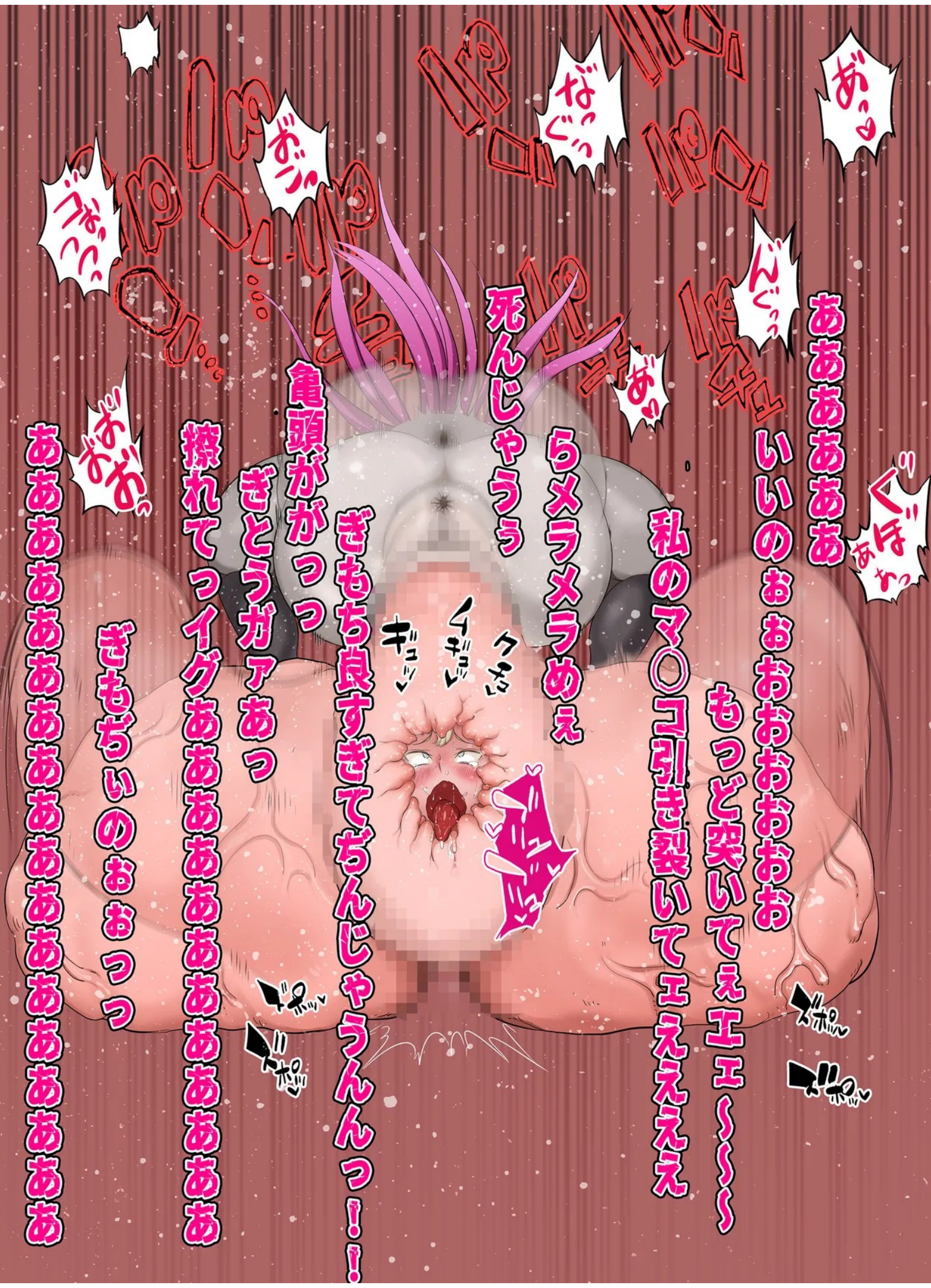
ぐほ



ぐほ
ぐほ
ぐほ

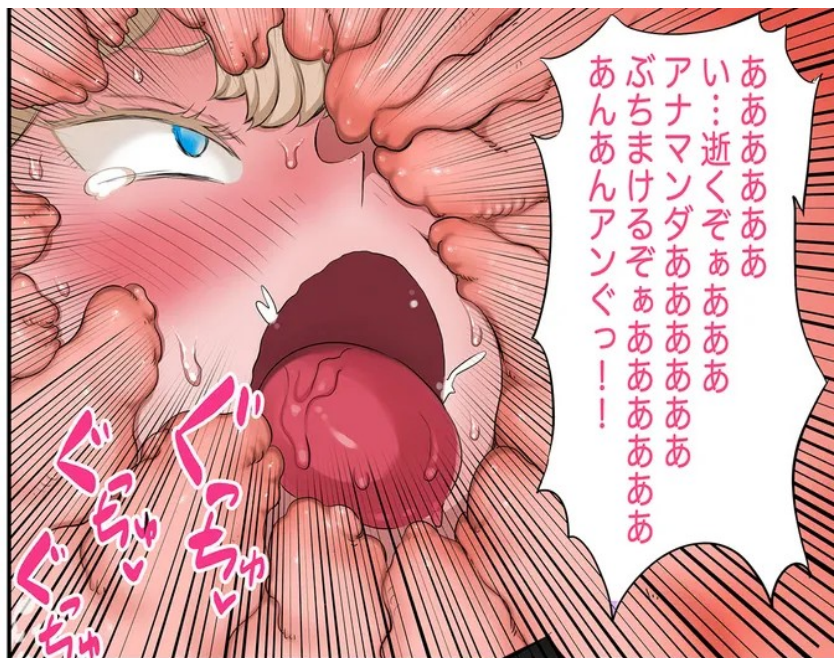
ぐほ
ぐほ

ぐほ
ぐほ





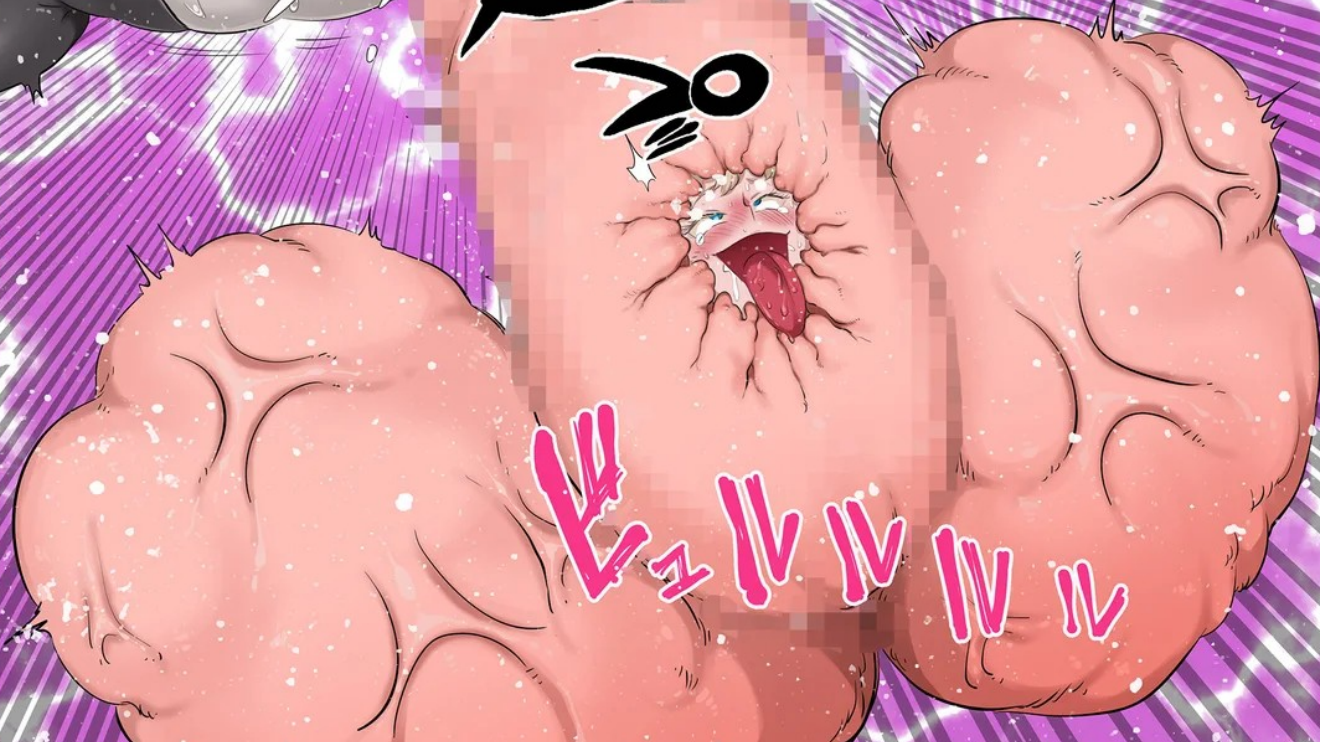
きてええええええ
 大量にセーシ
 ちようだいっっ!!
 セーシちようだいっ!!
 あああああああああ



ああああああ
 い：逝くぞああああ
 アナマングああああああ
 ぶちまけるぞああああああ
 あんあんアンぐっ!!



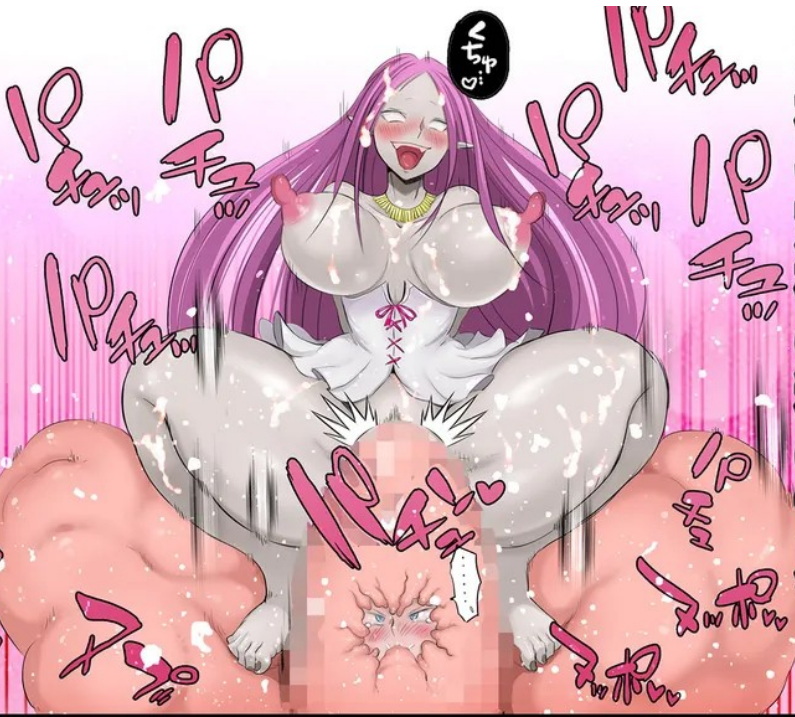
ああああああああ
 セーシが私の子宮に
 突き刺さって
 クリユウウウウウ
 死ぬほど
 逝くくううう!!



ジュル
 ジュル
 ジュル
 ジュル

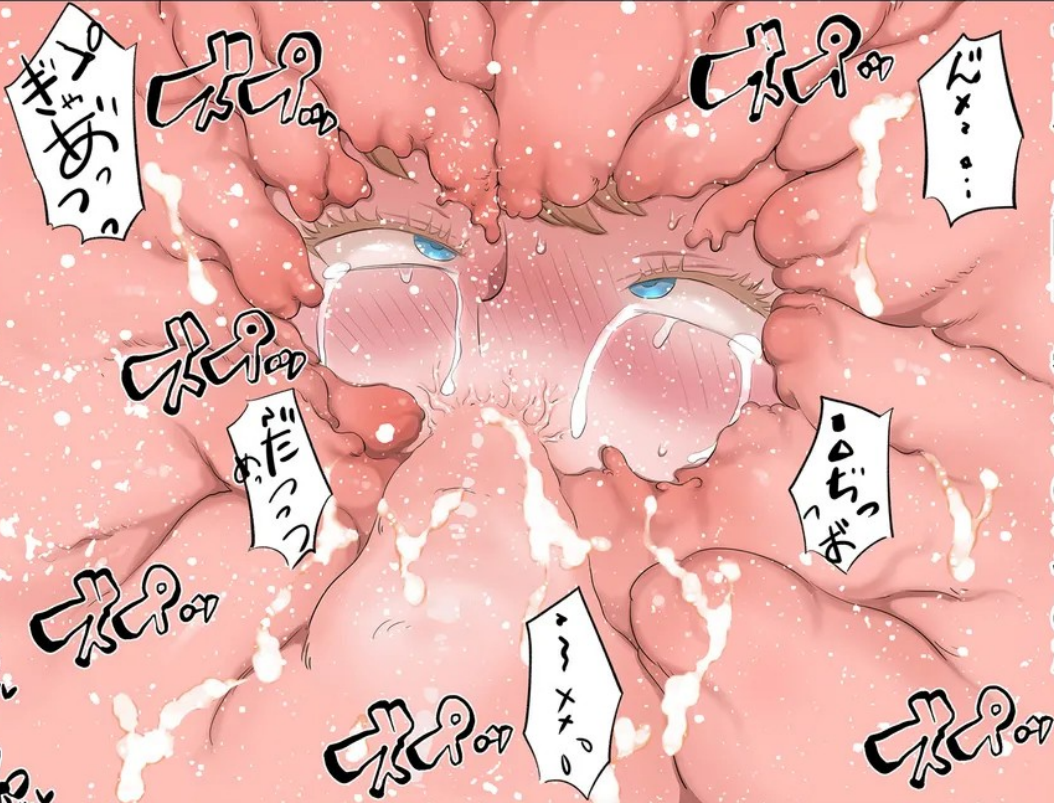
ああああああああ
最高よヴェルエーテ
これからずっと未来永劫
セックスしようね♡
お前は私のものよお

これぞ究極の私の世界



失われる事の無い
完全無欠の愛玩具
あと千年は
ハメ続けましょうね
あははははアンアン
擦れるうっうっうっ

ヴェルエーテはペニスの摩擦で生じる
快感を全身に浴びながら
何度も何度も射精し続けた
ああ 私はこれからペニスとしての人生を
送っていくのだ
そう思った瞬間 考えるのをやめた



エルフの寿命は果てしなく長い
悠久の時の中で
二人はいつまでも絶頂し続けてゆく

アナマンダの究極の愛の時代が今始まる



END